

一金刀比羅宮参拝一

現場組合員の航海安全と安全操業、大漁を祈願

新年1月17日の大安の日、香川県琴平町の金刀比羅宮にお参りし、現場組合員の航海の安全と安全操業、大漁を祈願した。お参りに参列したのは、海員組合本部から鈴木順三組合長代行と齋藤洋総務局長、そして中四国地方支部管内から、除補修中・四国地方支部長と遊佐清和尾道支部長、清水駿愛媛支部長、岡本裕二高松支部長が参列した。

金刀比羅宮は、瀬戸内海国立公園にも指定されている「琴平山」の中腹に所在し、全国に600社余りある、金刀比羅神社の総本山で、大物主神、崇徳天皇の2柱の神様が祀られている。

古来より、海上交通安全や大漁祈願をはじめ、五穀豊穰、殖産や医療など広範なご神徳をもつ神様として、広く信仰されている。

この日は785段の石段を登り、本宮において「海上安全」、「大漁満足」の祈祷を受け、今年1年間の組合員の安全運航と大漁を祈願し、参拝を終えた。

「海員だより」